

# インマヌエル中目黒キリスト教会

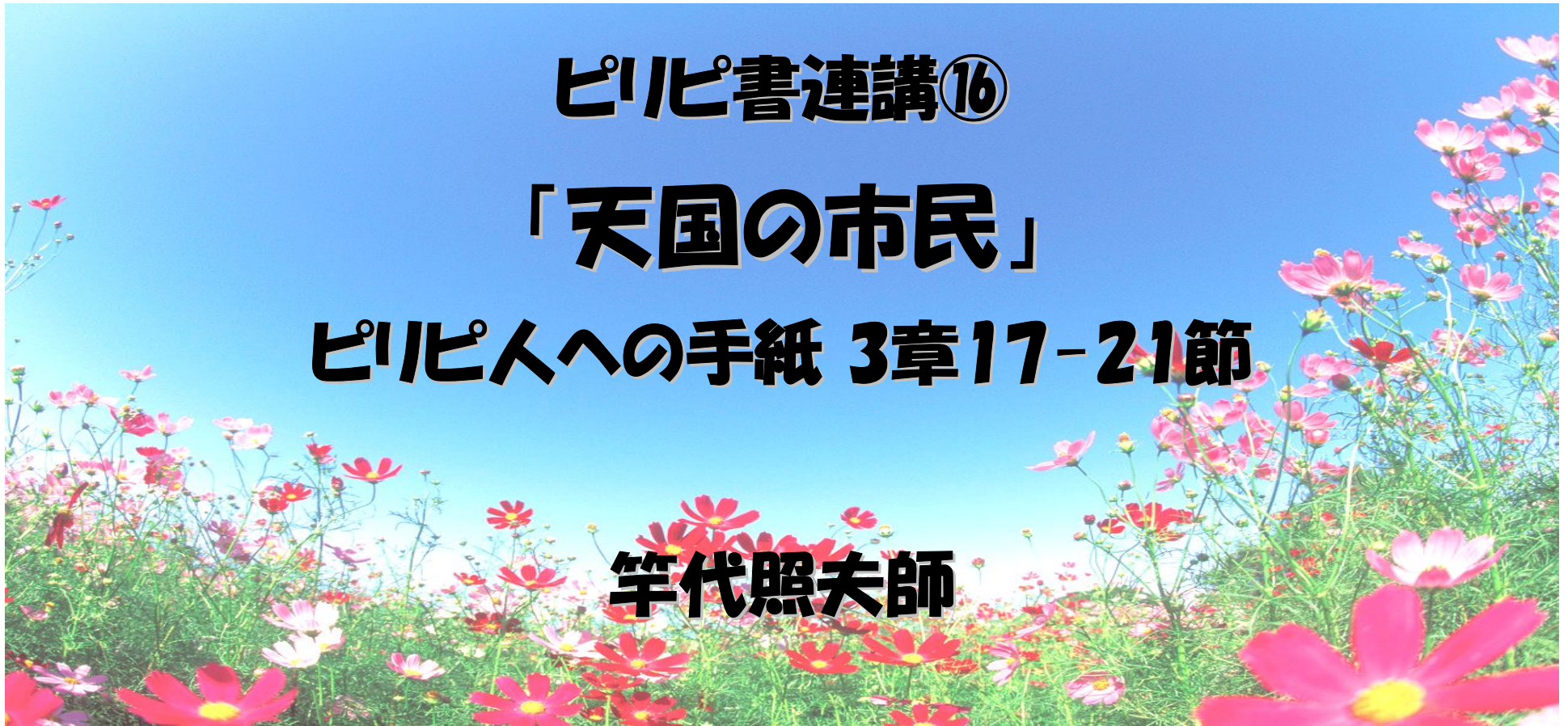
## 2009年9月27日

ピリピ書連講①⑥

「天国の市民」

ピリピンへの手紙 3章17-21節

竿代照夫師



# 聖書朗読

## 新約聖書

ピリピ人への手紙 3章17節-21節

## 17 兄弟たち。

私を見ならう者になつてください。

また、

あなたがたと同じように  
私たちを手本として  
歩んでいる人たちに、  
目を留めてください。

18 というのは、

私はしばしばあなたがたに  
言って来たし、  
今も涙をもって言うのですが、  
多くの人々が  
キリストの十字架の敵として  
歩んでいるからです。

**19** 彼らの最後は滅びです。  
彼らの神は彼らの欲望であり、  
彼らの栄光は  
彼ら自身の恥なのです。  
彼らの思いは  
地上のことだけです。

## 20 けれども、

私たちの国籍は天にあります。  
そこから主イエス・キリストが  
救い主としておいでになるのを、  
私たちは待ち望んでいます。

**21** キリストは、

万物をご自身に従わせることのできる御力によって、  
私たちの卑しいからだを、  
ご自身の栄光のからだと同じ姿  
に変えてくださるのです。

説教

ピリピ書連講①⑥

「天国の市民」

ピリピ人への手紙 3章17節ー 21節

竿代照夫師



主テキスト：

「私たちの国籍は天にあります。  
そこから主イエス・キリストが  
救い主としておいでになるのを、  
私たちは待ち望んでいます。」

**(ピリピ<sup>o</sup>3:20)**

# 1. パウロに倣うように（17節）

- パウロが  
「キリストを見ならっている」  
その態度（1コリント11:1）に  
倣うように
- 分派主義を捨て、  
心を一つにしてパウロの歩みに  
倣うように
- 「チーム・パウロ」の  
スピリットに倣うように

## 2. 世俗的メンバーを警戒しよう (18-19節)

- 「十字架の敵」とは、  
「己を捨てて十字架を担う」  
ことを嫌う快楽主義者
- その人々の特徴
  - ①食欲が神 (ローマ16:18)。
  - ②恥を誇る
  - ③唯物主義
- その終わりは滅び
- 彼らのために涙を流すパウロ

### 3. 天国に目を向けて

**(20-21、 4:1)**

- 天国市民という自覚を持とう
- 地上の国籍を捨てることではない
- 世とは違う価値観をもって  
生きる：  
キリストの受肉の例

- 再臨の主を待ち望む：  
「他のものから目を離して、  
熱心に、忍耐強く待ち望む」
- キリストの似姿への変貌を望む  
(2コリント3:18)
- 右顧左眊せず、  
天国を目指して歩もう

おわりに

- 天国への住民登録は  
確かですか？
- 天国市民たる自覚を持ち、  
しかも、  
足元も固めつつ今週も歩もう